

ニュージーランド・オークランド大学 留学報告書

学部学科・研究科専攻	国際文化学部 地域創造学科		留学時学年	三年
留 学 先	国	ニュージーランド	大学/機関	オークランド大学 ELA
期 間	2026年 8 月 8 日 ~ 2026 年 9 月 6日			
	短期・中期・長期 ※○で囲んでください。		計 1 ヶ月	

[1] 参加したコースの時間数と時間割

- 授業時間数： 週20 時間
- 科目名（受講した科目を全てご記載ください）：

A general English Course

【時間割】

時 間	月	火	水	木	金	土	日
例) 9時~13時	○	○	○	○	○	○	Free
8時15分~10時15分	○	○	○	○	○	free	free
10時30分~12時30分	○	○	○	○	○	free	free

[2] クラス編成や授業方法について教えてください。

【例】クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等

[クラス人数] 17人（日本人12人 韓国人1人 中国人3人 サウジアラビア人1人）

[先生]一限 sarah(国籍不明) 二限 putri(インドネシア人)

[授業方法]対面 読み書き&会話 ゲーム グループワーク

[使用教材]教科書 Canvas

[3] 課外活動や週末の過ごし方について教えてください。

ホストファミリーと外食したり、学校でできた友達と買い物、有名なスポットを回った。

[4] よく利用した施設について教えてください。（図書館、学生会館、スポーツ施設等）

学生ラウンジ

[5] 宿舎（寮やホームステイ）での生活について教えてください。

部屋：1 部屋__1__人で使用

様子：基本的にルールがなく他文化を押し付けない理解のある優しい家庭だった。わからないことも聞きやすく快適に過ごせた。

[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

● 楽しかったこと：

友達といろんな観光をし、ニュージーランドの自然を感じることができた。

オークランドは自然と街が混じり合う都市だったため登下校が苦にならず毎日が活力湧く日々でした。

● 苦労したこと：

留学前の準備不足が顕著に出た（下調べや英語の勉強等）。

現地の人と話すとき言いたい英語が出てこず、聞き取りも大変だった。

[7] 留学の成果について教えてください

1) 語学力の向上：

スピーキングよりもリスニング力が圧倒的に向上した
単語の使い方を会話しながら理解していった。

2) 専門知識の向上：

単語の知識量が増えた。
発音の仕方を学んだ

3) 自己成長など：

簡単な英語でシンプルでも意思疎通を図れるんだと感じた。一つの文章の中で断片的な単語しか分からなかったものが一文理解できるようになった。

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

迷っているのだとしたら絶対に行って欲しいです。新しい環境に身を置くことで他のところでも対応できる力やハートが強くなると実感しました！一番必要なのは対応力でも語学力でもなく新しいことに勇気を出せる力だと思いました。日本にいる時よりも時間が貴重になると感じましたし短期の方は本当にあっという間なので目標（例 現地の人と友達になる）を持って何気ない国外の生活の日々を楽しんで欲しいです。

いろんな失敗やハプニングが起こると思いますが後悔だけない生活を心がけて欲しいです。

留学前の下準備はとても入念にしておいたほうが自分的によかったです。

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

	内訳		金額 (留学時の日本円)
1	短期留学者のみ	旅行会社に支払った経費（授業料、フライト代他）	約 830000
2	中期・長期留学者のみ	フライト代	0
3	中期・長期留学者のみ	滞在費（寮費・ホームステイ代など）	0
4	教材費		0
5	保険代		1 に含まれる
6	私生活における諸経費（食費・交通費・洗濯費等）		150000
7	個人的な買い物		50000
8	その他（ ）		0
9	留学に関する費用 （1 から 8 の合計）		約 1030000
10	受給した奨学金（奨学金名： ）		0
11	留学に関する費用総額 （上記 9 から 10 を引いた額）		約 1030000

